

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学  
経営協議会（令和4年度第4回）議事要旨

1. 日 時 令和5年3月23日（木）15:00～16:41
2. 場 所 リーガロイヤルホテル京都 朱雀
3. 出席者(参集) 塩崎議長  
小笠原、太田、小谷、土井、野口、山本の各学内委員  
後藤、小山、田中の各学外委員  
(Webex) 板東、藤沢、ベントンの各学外委員  
欠席者 手代木、宮原の各学外委員  
出席監事(参集) 西村、春本の各監事  
陪席者(参集) 松山部長  
蜂谷課長  
(Webex) 高橋部長  
筒井、森、田中、竹河、川村、山口、久保の各課長
4. 配付資料  
資料1 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会（令和4年度第3回）議事要旨（案）  
資料2 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学戦略企画本部規程等の一部改正等について  
資料3 令和5年度奈良先端科学技術大学院大学予算について  
資料4 本学の主な動き（令和5年1月～令和5年3月）  
資料5 令和5年度国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学運営体制  
資料6 令和5～7年度会計監査人候補者の選定結果について  
資料7 令和5年度概算要求における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」  
評価結果を踏まえた今後の評価向上に向けた取組の検討について  
資料8 令和4年度外部資金の受入れについて

5. 議 事

（前回議事要旨の確認）

資料1の令和4年度第3回の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

（審議事項）

- （1）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学戦略企画本部規程等の一部改正等について  
議長から、資料2に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学戦略企画本部規程等の一部改正等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

（主な意見等は、以下のとおり）

- ・学外へ設備の共用利用について、どのように周知していくのか。  
→物質創成科学領域の設備については、文部科学省のマテリアル先端リサーチインフラ事業に参加している大学間では共有されている。企業等については、今後積極的に発信する仕組みを検討していく。

- ・機器の遠隔操作やデータ共有についてはどのように考えているのか。  
→機器の遠隔操作については積極的に進めている。データ共有については、マテリアル先端リサーチインフラ事業では必須である。リサーチトランスフォーメーションという形で、計測の自動化とデータ共有についてのモデルを作り、提案していくことを考えている。
- ・データ共有をする場合の、情報セキュリティインシデントや安全保障輸出管理の課題に対する対策はどうなっているのか。  
→本学の総合情報基盤センターと協議しながら、セキュリティ関連及びデータの利活用について検討を進めているところである。
- ・このプロジェクトに対しての責任体制はどうなっているのか。  
→学長直下の戦略企画本部の下、全学的な戦略として設備整備を統括していく。
- ・技術室のメンバーについて、分析等の具体的な需要に関する知識を持った人材を入れていただきたい。  
→けいはんな学研都市の企業と技術交流を進めようとしている。技術交流から始めて、キャリアパスとして人的交流も行いたいと考えている。
- ・大学が持っている特徴や強みをどのように広報していくのか。  
→全学で機器を管理し、戦略的に研究設備機器を整備することで、大学の強みとなる多様な機器を取り揃え、こういった設備があるということを広報していく。また、出てきたデータをいかに利活用していくかといったフィードバックまでのモデルを作ることで、大学の特徴を出していきたい。
- ・学研都市、関西あるいはグローバルな視点も含めて、外部に対してのアピールを意識していただきたい。

(2) 令和5年度奈良先端科学技術大学院大学予算について

小谷理事から、資料3に基づき、令和5年度奈良先端科学技術大学院大学予算について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(主な意見等は、以下のとおり)

- ・民間企業では賃上げを行っているので、人事院勧告による給与の引き上げが予想される。さらに、物価の高騰もあり、それに対応できるよう収入の増加に取り組んでいただきたい。  
→収入を増やしていくことに加えて、配分済みの予算の引き上げという対応が必要になる可能性もある。

(報告事項)

(1) 本学の主な動きについて (令和5年1月～令和5年3月)

議長から、資料4に基づき、令和5年1月から令和5年3月までの本学の主な動きについて、報告があった。

(2) 令和5年度運営体制等について

議長から、資料5に基づき、令和5年度運営体制等について、報告があった。

(3) 令和5年度会計監査人候補者について

小谷理事から、資料6に基づき、令和5～7年度会計監査人候補者の選定結果について、報告があった。

(4) 令和5年度概算要求における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」評価結果を踏まえた今後の評価向上に向けた取組の検討について

小谷理事から、資料7に基づき、令和5年度概算要求における「成果を中心とする実績状況に基づく配分」評価結果を踏まえた今後の評価向上に向けた取組視点について、報告があった。

(主な意見等は、以下のとおり)

・大学の強み、弱みについてどのように認識されているのか。

→強みとしては、教員当たりの研究業績、科研費獲得額である。一方で、最近導入された指標である伸び率や伸び幅については、すでに本学はこれらの項目で高い水準にあるため、これ以上伸ばすというのは難しい。弱みとしては、女性教員比率であり、今後、方策を立てて取り組んでいく必要がある。

(5) 令和4年度外部資金の受入れについて

太田理事から、資料8に基づき、令和4年度外部資金の受入れについて、報告があった。

(その他)

(1) 委員の退任について

今年度を以て退任する委員から退任の挨拶があった。

以 上